


















R-MPV療法(奇数投与)を受けられる患者さんへ (リツキシマブBS療法)

患者ID: _____ 氏名: _____
 主治医: _____ 担当医: _____ 受持看護師: _____

	R-MPV療法前日	リツキシマブBS療法当日
目標	治療の必要性、スケジュール、合併症や副作用を理解できる 	点滴のトラブルが起きないように注意を払うことができる 体温、血圧、脈拍などが安定している 次の症状が現れたとき、すぐに知らせることができる ■ リツキシマブによるアレルギー症状が現れたとき ■ 点滴刺入部の異常が見られたとき  
治療		点滴にかかる時間は【初回】4～6時間、【2回目以降】3～4時間程度 
内服		リツキシマブ点滴開始30分前に、消炎鎮痛剤と抗アレルギー剤を内服します 内服時間はお知らせします
点滴		身体の状態をみながら、リツキシマブの速度をあげていきます
検査 観察	 【10時・19時】 体調に変わりがないか、体温・血圧・脈拍・酸素飽和度などを計測	リツキシマブ点滴中は心電図モニターを装着します 【点滴中は30分毎】 体温・血圧・脈拍、酸素飽和度、副作用アレルギー症状(咳嗽や呼吸困難、皮疹や掻痒感など)、吐き気や嘔吐、寒気、点滴刺入部の異常がないか確認します 【10時・19時】 体温・血圧・脈拍・酸素飽和度などを計測
安静度	制限はありません	点滴中はできる限り安静に過ごしてください 点滴が終了し、体調に問題がなければ制限はありません
食事	制限はありません お粥、パンなど希望があれば看護師にご相談ください 既往歴によっては、希望に添えない場合があります 	制限はありません  
清潔		シャワー浴ができます 
排泄		点滴の前にトイレを済ませて下さい
説明	* 担当医師から治療について説明をします * 薬剤師から薬について説明をします * 医師が点滴の説明を行い、同意書を頂きます。 「抗がん剤治療を受ける患者さんとご家族の方、抗がん剤治療当日の説明用紙」のパンフレット【特に、排泄の注意点(P.4)】をよく読み分からないところがあればお聞き下さい 	副作用： 吐き気、嘔吐 体がだるい、貧血、易出血、皮膚症状(湿疹・かゆみ)、不眠、免疫力の低下 対策： <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block; margin-right: 10px;"> 吐き気止めの薬を使用する 無理せず休む 転ばないようにする 痒み止めの薬を内服する 清潔、保湿に努める 早めに下剤を調整する </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 吐き気や皮膚症状、不眠や発熱に対して対症療法を行います 免疫力が低下しているときはマスクを着用する、手洗い、うがいを行い予防をしていきましょう </div> 

R-MPV療法(奇数投与)を受けられる患者さんへ

患者ID: _____ 氏名: _____ 受持看護師: _____
 主治医: _____ 担当医: _____

	MPV療法日	R-MVP療法3日目	R-MVP療法4日目	R-MVP療法5日目	R-MVP療法6日目	R-MVP療法7日目	R-MPS療法8日目
目標	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <ul style="list-style-type: none"> ・体温・脈拍・血圧が安定している ・副作用症状について理解できる ・感染予防対策について理解できる ・点滴のところに赤み・腫れ・痛みがない ・尿量や尿の濃度が許容範囲内である </div> <div style="width: 45%; text-align: right;">  </div> </div>						
治療処置	全身状態を観察するため、点滴中は心電図モニターを装着します	副作用症状に対して必要時治療を行います					
内服	塩酸プロカルバジン(抗悪性腫瘍薬)を、奇数(1・3・5回目)の治療に内服します						
点滴	点滴をします オンコピン(約15分)、メトレキセート(約4時間) (約4時間30分ほどで抗がん剤の点滴が終わります)		化学療法が終了しても、約5日間程持続的に点滴を行います 2～5日目:血液検査を定期的に行いながら、結果を診ながら点滴を継続します				
検査	身体の状態に応じて検査を行っていきます オンコピン・メトレキセート後、48時間～72時間血中濃度が下がるまで「12時」に採血を行います						
安静度	抗がん剤投与中は、なるべく安静臥床をして下さい 治療後は、制限ありません						
食事		制限はありません 食欲がない時は食事の内容を変えることができます。ご相談ください					
清潔	点滴前か後に、シャワー浴や体を拭くことができます	できる限りシャワー浴を行い、身体を清潔に保ちましょう なお、下痢が続く場合、肛門周囲をきれいにしましょう 抗がん剤治療により、口内炎になることがありますので1日4回、しっかり歯磨きやうがいをしましょう					
排泄	8時間ごと(7時・15時・23時)に尿量や尿の濃度のチェックします 必要に応じて、膀胱留置カテーテルを挿入します。可能な方は、時間になったら尿カップに尿を取ってください						
説明	<p style="text-align: center;">* 副作用症状は個人差があります</p> <p>* 塩酸プロカルバジン(抗悪性腫瘍薬)を、奇数(1・3・5)クールに内服する間、取り扱いの注意点ががあります 「抗がん剤治療を受ける患者さんとご家族の方、抗がん剤治療当日の説明用紙」のパンフレット【特に、内服抗がん剤服用時の注意点(P.3)】をよく読み分からないところがあればお聞き下さい</p> <p style="text-align: center;">* 投与後1日目～投与後3週間頃の起こりやすい副作用として、 吐き気・身体のだるさ・ふらつきなど起こる事があるので、転倒に注意しましょう</p> <p>* 骨髄抑制(免疫力低下・貧血・出血)は投与1週間後から見られます。3週間程度は回復に時間がかかります マスクの着用、行動前後には手洗い・うがいをお願いします</p> <p style="text-align: center;">* 投与後、3週間程すると髪の毛が抜け始めます 点滴治療終了後は、髪の毛は生えてきます。その間、ウィックなどで希望される際はカタログをご案内いたします</p> <p style="text-align: center;">* 投与1日目～2週間頃から手足のしびれが出てくる事があります しびれの症状がある際は、医師や看護師にお知らせ下さい</p>					<p>* お部屋から離れる際は、マスクの着用、行動前後には手洗い・うがいをお願いします</p> 